

受付印		遺言書検認申立書	
		(この欄に収入印紙をはる。) ※ 遺言書1通につき800円	
収入印紙	円	(印紙に押印しないでください。)	
予納郵便切手	円		

準口頭	関連事件番号 平成・令和 年(家)第 号
-----	-----------------------

家庭裁判所 御中	申立人の 記名押印	(印)
令和 年 月 日		

添付書類	<input type="checkbox"/> 申立人の戸籍謄本 1通 <input type="checkbox"/> 相続人全員の戸籍謄本 各1通 <input type="checkbox"/> 遺言者の除(戸)籍謄本・改製原戸籍謄本 (※ 遺言者の(父母の)出生から死亡まで在籍したものを連続するようにそろえる) ※ 遺言書は、開封せずに検認期日に持参する。
------	---

申 立 人	本籍	都道 府県
	住所	〒 - 電話 () - <input type="checkbox"/> 携帯
	フリガナ 氏名	大正 昭和 平成 年 月 日生
	職業	
	遺言者 との関係	※ 1 配偶者 2 子, 孫 3 兄弟姉妹 4 その他 ()
遺 言 者	本籍	都道 府県
	最後の住所	
	フリガナ 氏名	大正 昭和 平成 年 月 日生
	死亡日	平成・令和 年 月 日死亡 死亡当時の職業

(注) 太わくの中だけ記入してください。 ※の部分には当てはまる番号を○で囲み、4を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。

申 立 て の 趣 旨

遺言者が作成した自筆の遺言書 _____ 通の検認を求める。

申 立 て の 実 情

遺言書を保管（発見）するに至った事情

- 1 申立人が遺言者から生前に遺言書を受け取り保管していた。
 - (1) 受け取った年月：平成・令和 年 月頃
 - (2) 受け取った場所：遺言者の自宅, 病院,
- 2 遺言者から生前に遺言書を作成したことは聞いていたが、それを保管するようになったのは遺言者が死亡した後からである。
 - (1) 発見した年月：平成・令和 年 月頃
 - (2) 発見した場所：遺言者の自宅, 病院,
- 3 遺言書を作成したことは生前には聞いていなかったが、遺言者が死亡した後に、遺品を整理しているときに遺言書を発見し、申立人が保管している。
 - (1) 発見した年月：平成・令和 年 月頃
 - (2) 発見した場所：遺言者の自宅, 病院,
- 4

遺言書の封筒の有無等

- 1 有
 - 封をしている。
 - すでに開封している。
 - 封をしていない。
- 2 無

(注) 太わくの中だけ記入してください。

相 続 人 等 名 簿

フリガナ名 氏	遺言者との関係	住 所	電話番号
		〒 -	() -
		〒 -	() -
		〒 -	() -
		〒 -	() -
		〒 -	() -
		〒 -	() -
		〒 -	() -
		〒 -	() -
		〒 -	() -
		〒 -	() -